

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	もりもりの森 メディパーク高知駅		
○保護者評価実施期間	2025/2/18	～	2025/3/1
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 36	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2025/2/18	～	2025/3/1
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	8
○訪問先施設評価実施期間	2025/2/18	～	2025/3/8
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 36人	(回答施設数)	13施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025/3/12		

○ 分析結果

事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
<p>○アセスメントをとり、個々の力に応じた支援ができる。お子さん・家庭・園、のすべてに対して支援ができる。早期療育ができる</p> <p>○有資格者のみで専門的な知識を持っているものどおして話をすることができて支援ができています</p> <p>○通所支援をおこなっている児童が訪問支援を併用されており、レッスン室だけではなく、集団場面でのアプローチを現場の先生方と協議の上進めることができます。</p> <p>○訪問(集団現場)で困っていることを、個別学習の中で学び園・学校生活に還元できる機会がある。</p>	<p>○月に1度の全員の支援会、課題についての検討、ABAの研修をしている</p> <p>○月に1度の全員の支援会、毎週の訪問会での利用児童の共有と課題の検討、ABAの研修等をしている。アセスメントに基づいた、個人に合わせた課題を設定して、協議などを重ねている。</p> <p>○訪問では外部に出て、職員間でコミュニケーションをとることが難しいことがあるが、週に1回は、時間を長く持って利用児童や訪問先からの要望や質問に協議して事業所として返答するようにしている</p>	<p>○もう少し研修の頻度をあげる。職員のスキルに応じた研修</p> <p>○訪問での様子を共有して、事業所での支援に反映していく</p> <p>○訪問先の先生方とお子様のお時間を最優先に、限られた時間の中で訪問支援のできることを検討し、協議を重ねていきたい。</p>

事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
<p>1. 一日を通じて利用児童が来られているので、全職員で集まった時間が1時間単位等の隙間時間になるも、その時間内で建設的な協議が行えるように工夫をおこなっていく。</p> <p>2. 送迎サービスを行っていないが、その分の時間はカンファレンスや個別教材作成、保護者への相談支援、支援技術向上に努めている。</p> <p>3. 時間帯によっては、児童数がすくなく他児と一緒に過ごす機会がない場合もある。</p> <p>4. 集団ではあく個別支援となっているので、集団の中での反化が難しいことがある。</p>	<p>1. 全利用児童への個別支援と統一した技術提供をおこなっていくためにも、送迎サービスの実施はおこなっていない。それに伴い、同じ時間帯に在籍する児童数がすくあいこともあり、集団場面での反化が課題となってくる。</p>	<p>1. 時間を工夫して短い時間で協議と討議、決議等をおこなひ、より児童へ質の高い支援が行えるように努めていく。</p>